



第12号

偕楽園公園を愛する市民の会

事務所 310-0053 水戸市吉沢町2-22

TEL・FAX 029-247-0438

ホームページ http://www.kairaku-en.jp/

新たな活動の一年間

「湊正雄会長あいさつ」

昨年の総会で「偕楽園公園をもっと魅力ある都市公園にしよう」という原点に帰って、新たな事業・活動を展開することになりました。また、会員が一人でも多く熱意を持って参加できるように委員会を再編成し、委員会中心で活動することになりました。



湊会長 (今年度総会)

昨年の総会後の「偕楽園公園をさらに充実した都市公園にしよう」と題したシンポジウムを皮切りに、五月に「偕楽園公園の魅力発見ウォーキング」(環境委員会、魅力向上委員会共催)を実施し、(会報十一号)、偕楽園公園の新たな魅力と可能性を確認しました。

環境委員会の花壇も引き続きキバナコスモスとアブラナを育てました。

魅力向上委員会は、七月に「偕楽園公園の今と昔：水辺、湧水、そして水都」の展示とワークショップを行いました。偕楽園公園で活動する団体に呼びかけてそれぞれテーマに沿った展示をしていただき、二十三日に「水辺環境の保全と愛される都市公園」の題でトーク&トークを持ちました。

また、七月二十三日に「偕楽園の魅力を感じる会」と題して、展示参加団体や偕楽園公園の利用者が参加して県と市の担当者から偕楽園公園の整備についての取り組みを話していただき、懇談会を持ちました。これらの行事を通じて他団体との交流も

深まり、偕楽園公園の未来を多面的に見直すきっかけとなるでしょう。

「弘道館 親と子の論語塾」は四月から第六期目となりました。会場は五月〜十月は弘道館の至善堂、四月と十一月〜二十七年三月は茨城県生涯学習センター講座室で開催し、ようやく震災前の姿に戻りました。交流委員会は、昨年度は福井市の養浩館庭園をメインとした交流会に参加しました。今後とも全国の大名庭園で活動する民間団体との交流を担当するほか、これからは偕楽園公園にかかわる団体等との交流を深めていきます。

研修委員会は十一月に「偕に楽しむ」一一号を発行し、二十七年三月にホームページを全面刷新しました。昨年の総会で活動の刷新を決議してから一年、新しい会活動の姿が見え始めました。偕楽園公園を魅力あふれる都市公園にするために引き続き楽しく活動していきましょう。

弘道館 親と子の論語塾

「論語委員会」



弘道館で (26年5月)

六期目の論語塾は五月から十月に発足の地弘道館で開講できました。会場の至善堂は震災を受けたと思えない様子で、以前と同じように二部屋をつないで畳にカーペットを敷き、



生涯学習センターで (27年3月)

唱に続いて論語を素読したりします。机・いすの並んだ会議室を使っていたこの間の会場と違って、家族や他の受講生が身近に感じられ、素読の声もまとまり、一体感が高まります。四月と十一月から二十七年三月は、前年と同じ茨城県水戸生涯学習センターの講座室で開催しました。弘道館で開講した前期より受講生がやや少なくなっています。論語委員会は受講者数が震災前より減少しているうえ変動が大きいので宣伝、広報を改善して新年度に臨みます。

大名庭園サミット越前福井大会

「交流委員会」

十一月八日〜十日に開かれたサミットは舞台となる養浩館は県庁のある旧福井城から少し離れた福井松平家の別邸にあり、養浩館庭園は池を中心到庭と屋敷を配した回遊式のこじんまりとした庭園でした。大会テーマは「大名庭園を活かした歴史文化の町づくり」で、県庁として使われて



懇親会

いるため目立たない福井城や養浩館とその庭園を活かした町づくりで観光資源として活用したいという地元の熱意が感じられました。永平寺や一乗谷の旧朝倉氏城下町など県内の他の観光地に比べて水戸からは一人名が参加し、交流を深めました。

参加に先立ち十一月一日に久野勝弥氏による事前勉強会を今回初めて開きました。

会報一一号とホームページ刷新

「研修委員会」



会報11号

は十一月に「偕に楽しむ」第一一号を発行しました。会員でない方もホームページからご覧いただけます。また、会報へのアンケートの結果、「文字や写真をもっと大きく」という意見が多数寄せられました。そこでホームページから写真や図を拡大して見られるようにしました。会の活動刷新を反映するようホームページを三月に全面刷新しました。トップページを新しくしたほか委員会ごとに活動案内を見られるようにしました。一部未完了ですが、ご覧のうえ、ご意見をお寄せください。

昨年水戸市協働事業「わくわくプロジェクト」に応募しましたが、先行事業(本会の「偕楽園なんでも百科」)があるので、新規性が不十分との理由で不採用となりました。そのため一年遅れて今年度の事業として取り組む計画です。

会員募集のチラシを作成

刷新した活動に見合うように会員募集のチラシを平成二十七年四月に作成しました。偕楽園公園を魅力的な都市公園にする活動に加わる仲間を増やすために活用してください。



会員募集チラシ

偕楽園公園の将来像を探求する活動

展示とワークショップ

偕楽園公園の今と昔：水辺、湧水、そして水都

魅力向上委員会



展示の見学者

平成二十六年七月十五日から二十七日に偕楽園公園センターで、偕楽園公園で活動する五団体に呼びかけてパネル展示とワークショップを開催しました。それぞれの団体からテーマに沿った展示を行いました。

本会と「歴史アドバイザー水戸」は偕楽園の昔と今を示す写真や図を展示しました。目玉は「常磐公園攬勝図誌から」と題する偕楽園公園内の景色を描いた図にコンピュータで色づけをしたパネルです。「水戸市環境保全会議」は千波湖を中心とした水辺の姿、「水戸市



「常磐公園攬勝図誌から」

とした水辺の姿、「水戸市ネットワーカ連絡協議会」はパンフレット「水戸の湧水」のパネル、「茨城生物の会」は千波湖・桜川を中心とした生物と環境の変化と、逆川を愛する会・こどもエコクラブの活動紹介、「千波湖周辺の公園と自然を愛する市民の会」は活動の紹介をそれぞれ展示しました。千波湖公園の豊かな自然と多様な姿、その変化がよくわかりました。

統一性に欠けるという感想が寄せられましたが、次回は事前の打ち合わせを十分に行ない、物語を感じられる展示にしようと話し合いました。



トーク&トーク

二十三日に「水辺環境の保全と愛される都市公園」の題でトーク&トークを開催しました。FMパルルンでトーク番組をもっているマーサ川又氏の司会で展示に参加した各団体からそれ

ぞれ数名が参加して偕楽園公園の水辺をめぐって持論を出し話し合いました。

地元の人が偕楽園公園をあまり知らないというのが共通の感想でしたが、「桜川緑地を湿地に戻して千波湖の浄化に活かさないか」、「田鶴はコウノトリも指しているの」、千波湖周辺をコウノトリの舞うようにしたい、などの話が印象に残りました。

偕楽園公園の魅力語る会

魅力向上委員会



意見交換

展示期間中の七月二十三日に常磐神社社務所会議室にて「偕楽園の魅力語る会」と題する懇談会を開きました。まず茨城県公園街路課と水戸市公園緑地課の担当者から偕楽園公園の整備についての取り組みを話していただきました。息の合ったわかりやすい発表でした。



意見交換

その後、参加者から、偕楽園公園で活動あるいは利用している立場で意見交換が行われました。施設の充実、道路標識や看板など案内情報の充実、利用の制約を減らすことなどの要望が出され、具体的提案があれば改善したいとの回答がありました。

花壇づくりとウォーキング

環境委員会

環境委員会は、魅力向上委員会と共催で五月に「偕楽園公園の魅力発見ウォーキング」を実施しました（会報十一号）。

「偕楽園公園花づくりパートナー」では猩猩梅林の一面に花壇を借りて夏のキバナコスモス、春のアブラナを植栽しました。



カラシナ種蒔き

また、平成二十七年三月十六日には今年度のウォーキングの予定コースの事前調査として桜川駐車場の上流を観察しました。

今年度の活動計画

魅力向上委員会

魅力再発見ウォーキング
桜川駐車場から上流の遊水地の様子と、千波湖浄化導水の施設を観察し、利用・活用を考えます。
日時 平成二十七年五月二十三日
午前九時～十二時

展示とワークショップ

集合場所 偕楽園公園センター
昨年と同様諸団体と共同で偕楽園公園の魅力を探ります。
テーマ「偕楽園公園の魅力再発見」
日時 平成二十七年七月十四日～二十六日
会場 偕楽園公園センター展示室

論語委員会

「弘道館 親と子の論語塾」第七期
七期目の論語塾は、昨年とほぼ同じように開講します。毎月第一土曜日に四月～十月は弘道館で、十一月～三月は茨城県水戸生涯学習センターで開きます。なお一月二日は休講とします。
期日 毎月第一土曜日
十時三〇分～十一時三〇分
会場 弘道館至善堂（四月～十月）
茨城県水戸生涯学習センター講座室
県三の丸庁舎三階（十一月～三月）

カラーのチラシを作成し、小学校のほか図書館など関係箇所にも配布しました。詳細はホームページをご覧ください。

27年度 やさしい論語塾
子どもの大人で
弘道館 親と子の論語塾
期日 毎月第一土曜日 10:30～11:30
会場 弘道館至善堂（4月～10月）
茨城県水戸生涯学習センター講座室（11月～3月）
県三の丸庁舎三階（11月～3月）
受講料 1回1,000円（教材費100円）
定員 15名
申し込み 4月15日まで
お問い合わせ 026-222-1111

論語塾チラシ

環境委員会

魅力再発見ウォーキング
魅力向上委員会と共同で開催します。
親と子の環境工作
魅力向上委員会の展示とワークショップの一環として実施します。
虫の声と偕楽園の萩を愛でる食事会
偕楽園のスズムシ放虫会に参加して食事会をします。

交流委員会

第十回大名庭園サミット金沢大会
五団体で始まった大名庭園民間交流協議会の交流集会（サミット）は、六回目から新加入の彦根、広島、会津、福井の団体が受け持ってきました。今年度は北陸新幹線の開通を記念して一回目と同じ金沢で開催します。
大会テーマ「大名庭園の価値を伝えよう」
期日 平成二十七年十一月十九日～二十日
場所 金沢市兼六園

研修委員会

『偕楽園なんでも百科』の改訂
震災の被害と復興への取り組みを盛り込むほか、小規模の改定にとどめることにしています。
ホームページの更新
行事の予定や結果などを迅速に会員に届けるよう、各委員会と協力して頻繁に更新したいと思います。

学習会の実施

交流委員会と共同で金沢と兼六園の事前学習会を実施します。
会報第一三号の発行
秋に発行し、年二回発行したいと思います。